

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（2学年用）教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（三省堂「新 論理国語」）

教科 国語 の目標

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、効果的に表現しようとする能力の育成をはかる。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図ろうとする態度を養う。

科目 論理国語 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
論理的な文章を読むことで、言語感覚を磨き、知識と教養を身につける。また、「言語活動」を通して、実社会に役だつテーマを学習し、今後の生活に生かしていく。	論理的な思考力と判断力、表現力の養成をはかり、さまざまな問題に対して批判的に考え、自らの考えを深めようとする態度を養う。	生徒が自主的、主体的に学習活動を行い、対話的・協働的な学習を積み重ねることにより、様々な社会的要請に応え得る人間性の育成に努める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書 読					
1 学 期	A「若者に友達プレッシャー」 【知識及び技能】 本文中の語句や語彙の使い方、また文章の構成や展開の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者が取りあげた「若者」の行動を整理するとともに、「若者」の行動を分析を通して見えてくる現代社会の問題点を明確にする。 【学びに向かう力、人間性等】 本文から筆者の主張を捉えようとして、自分の意見を発表する。	・指導事項 文章の構成や取り上げられている具体例を認識したうえで筆者の主張をつかむ。 ・教材 教科書 副教材 スマートスクール端末			A「若者に友達プレッシャー」 【知識及び技能】 学習のために必要な語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 本教材の意図する学習項目について理解を深めようとするとともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。				8
	定期考査								1
	B「カタカナ語は享受すべきか」 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の考えを的確に伝えられるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 「カタカナ語」について、日常生活と関連して考え、自分の体験を伝えようとしている。	・指導事項 言葉に対する考え方の違いやその背景について、筆者の主張に沿って捉える。 ・教材 教科書 副教材 スマートスクール端末			B「カタカナ語は享受すべきか」 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 【学びに向かう力、人間性等】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めたり、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討しながら、自らの学習を調整しようとしている。				8
定期考査								1	
2 学 期	C「女性／男性だから〇〇」 【知識及び技能】 本文中の語句や語彙の使い方、また推論の仕方について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 「男女の平等」「性別からの自由」などについて、考えを広げたり深めたりする。	・指導事項 筆者が本文中で提起している課題と、それに対する主張を捉え、ジェンダーに関する考えを広げたり深めたりする。 ・教材 教科書 副教材 スマートスクール端末			C「女性／男性だから〇〇」 【知識及び技能】 推論の仕方について理解を深め使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 設定した題材に関連する複数の文章や資料を基に、必要な情報を関係付けて自分の考えを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 本教材の意図する学習項目について理解を深めようとするとともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。				8
	定期考査								1
	D「「すべり台社会」と溜め」 【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めたりすることに向けた粘り強い取り組みを行う。	・指導事項 ・筆者の主張とそれを支えるデータや図表などの情報の妥当性を検証させる。 ・教材 教科書 副教材 スマートスクール端末			D「「すべり台社会」と溜め」 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。 【学びに向かう力、人間性等】 関連する文章や資料を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。				9
定期考査								1	
	E「誰かの靴を履いてみること」 【知識及び技能】 類似の言葉の意味の違いや文章	・指導事項 教育制度を通じて諸外国についての理解を広げる。			E「誰かの靴を履いてみること」 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や				

3 学 期	<p>の構成や展開の仕方について考えを深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 本文を踏まえ、日本と他国の違いについて、自身の考えを持つ。</p>	<p>・教材 教科書 副教材 スマートスクール端末</p>	○	○	<p>論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 本教材の意図する学習項目について理解を深めようとするとともに、学んだことを積極的に振り返り、自らの今後に生かそうとしている。</p>				8
	定期考査					○	○		1
									合計
									37

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（2学年用）教科 国語 科目 文学国語

教科：国語

科目：文学国語

単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～

7 組

使用教科書： 教研出版『文学国語』

教科 国語 の目標

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、効果的に表現しようとする能力の育成をはかる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図ろうとする態度を養う。

科目 文学国語 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 山月記 【知識及び技能】 語彙力を向上する。小説ならではの表現に着目する。登場人物の心情に着目する。 【思考力、判断力、表現力等】 言動や登場人物の関係性に留意して小説を読み、心の動きの変化を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 小説を味わおうとし、自らの出来事や思いと重ねて文章を鑑賞しようとしている。 定期考査	・本文全体から、場面と設定を理解する。 ・登場人物それぞれについてまとめる。 ・尊大なる羞恥心 臆病な自尊心について考察する。		○	○					12
							○	○	○	1
2 学 期	B 物語のおわり 【知識及び技能】 語彙力を向上する。小説ならではの表現に着目する。登場人物の心情に着目する。 【思考力、判断力、表現力等】 言動や登場人物の関係性に留意して小説を読み、心の動きの変化を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 小説を味わおうとし、自らの出来事や思いと重ねて文章を鑑賞しようとしている。 定期考査	・現代作家の作品を読むことで、読書に親しむ姿勢を育てる。 ・登場人物について、それぞれまとめる。 ・創作活動を通して、物語を紡ぐことの意味を考える。		○	○					10
							○	○	○	1
3 学 期	C 山椒魚 【知識及び技能】 語彙力を向上する。小説ならではの表現に着目する。登場人物の心情に着目する。 【思考力、判断力、表現力等】 言動や登場人物の関係性に留意して小説を読み、心の動きの変化を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 小説を味わおうとし、自らの出来事や思いと重ねて文章を鑑賞しようとしている。 定期考査	・山椒魚の心情変化をまとめる。 ・山椒魚と蛙の関係はどのように変化していったかを、それぞれの心情に着目しながらまとめる。 ・この小説を寓意小説と見た場合、人間におけるどのような状況を表しているかを考える。 ・山椒魚の考え方や行動について、どのような感想を持ったかを話し合う。		○	○					10
							○	○	○	1
										合計
										35

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 国語 科目 古典基礎

教科：国語 科目：古典基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 第一学習社 標準『古典探求』 ）

教科 国語 の目標

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、効果的に表現しようとする能力の育成をはかる。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力の向上を図ろうとする態度を養う。

科目 古典基礎 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにできる。	古典の作品や文章などに表われているものの見方、感じ方、考え方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりできる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			話・聞	書・読					
1 学 期	A『古本説話集』「平中が事」 B『古今著聞集』「小式部内侍と和泉式部」 ・繰り返し音読・朗読することで古典の持つ独特のリズムに慣れ、優れた表現を味わおうとする。また、古人のものの見方や考え方を読みとりながら、自分自身のものの見方や考え方を広げようとする。 ・歴史的仮名遣いや古語の意味と使い方を理解し、古典の文章のおおまかな意味をとらえようとする。	【古本説話集】 1 本文を通読し、何をおかしみとして取り上げているのか、整理する。 【古今著聞集】 1 全文を音読し、主語を確認しながらあらすじを読み取る。 2 「返事」の内容を読解する。 3 当意即妙について理解する			【知技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思判表】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主】進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、「うつくしきもの」に共通する特徴を捉え、古今異義語について考えようとしている。				13
	C『徒然草』「奥山に、猫またといふものありて」 D『奥の細道』「旅立ち」「平泉」 ・現代語訳や語注などを手掛かりに内容や表現の特徴を知り、登場人物の言動や兼好法師の思いを考えることを通して、徒然草に表れたものの見方や考え方を捉えることができる。 ・作者は、どのようなものが減り、どのようなものが残っていると述べているか、整理できる	【徒然草】 1 全文を音読し、あらすじを読み取る。 2 「猫また」に関する二つのうわさの内容の違いを考える。また、どのような法師であるかを理解する。 3 「猫また」に襲われた法師の行動を捉え、その心理を想像する。 【奥の細道】 1 書かれている場所を意識しながら全文を通読し、概略を読み取る。 2 作者は、どのようなものが減り、どのようなものが残っていると述べているか、整理する。			【知技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 【主】進んで文脈のさまりや古典特有の表現を理解し、学習課題に沿って作者の考えを的確に捉えようとしている。				13
	定期考査								1
2 学 期	E『史記』「曹公戦於白馬」 「曹公以関羽為義」 「魏武捉刀」 ・史書に興味を持ち、進んで音読・朗読をすることで、古典作品に慣れ親しもうとする。 ・繰り返し音読・朗読することで漢文の持つ独特のリズムに慣れ、優れた表現を味わおうとする。 ・「史記」の登場人物の生き方について考えながら作品を読もうとする。 ・古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像することができる。	1 通読し、全文を現代語訳する。 2 時間の経過と各時間帯の状況をとらえる。 3 『三国志』に記された三国時代の歴史や人物について理解し、その内容を説明する。 4 話の展開や登場人物の言動を読み取り、史話のおもしろさを味わい、それについて根拠をもって自分の考えを伝えようとする。			【知技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 【思判表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主】 ・進んで話の展開や登場人物の言動を読み取り、学習課題に沿って、史話のおもしろさを味わおうとしている。				13
	F『平家物語』「木曾の最期」 ・古典に興味を持ち、進んで音読・朗読をすることで、古典作品	1 全文を通読して話の大筋をつかむ。 2 敬語に着目し、会話の内容を読み取る。			【知技】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で				

	<p>に慣れ親しもうとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し音読・朗読することで古典の持つ独特のリズムに慣れ、優れた表現を味わおうとする。 ・「平家物語」の登場人物の生き方について考えながら作品を読もうとする。 ・古典に表れたものの見方や考え方に触れ、登場人物や作者の思いなどを想像することができる。 	<p>3 義仲に自害を勧める兼平の心情と、義仲の言動と心情とを読み取る。</p> <p>4 第二段の兼平の奮戦を、描写に着目して読み取る。</p> <p>5 義仲と兼平の心情に触れながら、それぞれの死の描かれ方について考える。</p> <p>6 本文全体を読んで印象に残った表現を取り上げ、その効果について話し合う。□文体を意識して、場面に応じた音読をする。</p>			<p>○ 使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 <p>【主】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平安時代の貴族文化をふまえて、登場人物の境遇や心情を理解しようとしている。 	○	○	○	14	
	定期考査						○	○		1
3 学 期	G 『論語』	<p>【学ぶということ】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本文を繰り返し音読し、書き下し文にする。 2 脚注を参照して正確に現代語訳し、内容を理解する。 3 孔子の学問観について考える。 4 『論語』を典拠とした成語について調べる。 <p>【人間を見つめる】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本文を繰り返し音読し、書き下し文にする。 2 脚注を参照して正確に現代語訳し、内容を理解する。 3 孔子や弟子の人間観について考え、「忠」「信」、「巧言令色」や「仁」についても調べる。 			<p>○ 【知技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通じて、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 <p>【思判表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えを持っている。 <p>【主】 進んで『論語』に表れているものの見方や考え方について理解し、学習課題に沿って、自分のもの見方や考え方を深めようとしている。</p>	○	○	○	15	
	定期考査						○	○		1
合計										
70										

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（2学年用）教科 地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史 科目：歴史総合 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（山川出版 現代の歴史総合 みる・読み解く・考える 改訂版）

教科 地理歴史 の目標

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界との中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>近代化への胎動</p> <p>【知識及び技能】 17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通、江戸幕府の4つの口や周辺地域との貿易などを基に、18世紀の日本からみた東アジアの政治・経済と社会を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 17世紀から始まり18世紀から19世紀にかけての日本が4つの口を通して周辺地域との関係に着目して、主題を設定し、周辺地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀とその前後の日本における経済活動の特徴、清などのアジア諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通、江戸幕府の4つの口や周辺地域との貿易など、18世紀の日本からみた東アジアの政治・経済と社会について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近代化への問い ・ 17世紀以前のアジアの繁栄とヨーロッパの海外進出 ・ 江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 ・ 江戸時代の生産・流通と諸改革 ・ 近世の琉球と蝦夷地 ・ 幕政の改革と東アジア世界 ・ 鎖国は日本だけのもの？ 	<p>【知識・技能】 17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通、江戸幕府の4つの口や周辺地域との貿易などを基に、18世紀の日本からみた東アジアの政治・経済と社会を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 17世紀から始まり18世紀から19世紀にかけての日本が4つの口を通して周辺地域との関係に着目して、主題を設定し、周辺地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀とその前後の日本における経済活動の特徴、清などのアジア諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通、江戸幕府の4つの口や周辺地域との貿易など、18世紀の日本からみた東アジアの政治・経済と社会について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>欧米の市民革命と「西洋の衝撃」</p> <p>【知識及び技能】 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国における政治、各地域間や清や日本などアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀とその前後の</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヨーロッパの主権国家体制の成立ー17世紀以前のヨーロッパの「国家」をみるー ・ イギリス産業革命とアメリカ独立戦争 ・ フランス革命とウィーン体制 ・ ナポレオンはどう描かれたの 	<p>【知識・技能】 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国における政治、各地域間や清や日本などアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀とその前後の世界の経済と社会を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>				

1 学期	<p>世界の経済と社会を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国のできごとや影響などに着目して、主題を設定し、世界各地の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、東アジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<p>か ・ アメリカ合衆国の発展とラテンアメリカの独立 ・ 世界市場の形成 ・ オスマン帝国の衰退とロシア ・ イスラム世界の拡大 ・ アヘン戦争の衝撃と日本の開国 ・ 江戸幕府の滅亡 ・ 19世紀の日本の外交交渉</p>	<p>18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国のできごとや影響などに着目して、主題を設定し、世界各地の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、東アジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	<p>欧米諸国と日本の国民国家形成 【知識及び技能】 19世紀後半のヨーロッパや日本における政治、ヨーロッパ各地域間や日本と欧米諸国の関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 19世紀後半の欧米諸国が日本に与えた影響などに着目して、主題を設定し、ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀後半のヨーロッパにおける政治活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 19世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<p>・ イギリス・フランスの繁栄とイタリア・ドイツ統一 ・ 明治政府の諸改革 ・ 文明開化 ・ 日本のアジア外交と国境問題 ・ 自由民権運動と大日本帝国憲法 ・ 北海道旧土人保護法は何を目的に制定されたのか</p>	<p>【知識・技能】 19世紀後半のヨーロッパや日本における政治、ヨーロッパ各地域間や日本と欧米諸国の関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 19世紀後半の欧米諸国が日本に与えた影響などに着目して、主題を設定し、ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀後半のヨーロッパにおける政治活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 19世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>帝国主義の時代 【知識及び技能】 19世紀から20世紀初頭にかけてのアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、19世紀から20世紀初頭のアジアの経済と社会を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などに着目して、主題を設定し、ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀から20世紀初頭の日本における政治の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<p>・ 帝国主義の時代へ ・ 朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 ・ 日清戦争後の東アジア ・ 日露戦争と東アジアの変動 ・ 日本の産業革命 ・ 産業革命の光と影 ・ 日清戦争・日露戦争とナショナリズム ・ 近代化と現代的な諸課題</p>	<p>【知識・技能】 19世紀から20世紀初頭にかけてのアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、19世紀から20世紀初頭のアジアの経済と社会を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などに着目して、主題を設定し、ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀から20世紀初頭の日本における政治の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
<p>第一次世界大戦と大衆社会 【知識及び技能】 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦</p>	<p>・ 国際秩序の変化や大衆化への問い ・ 第一次世界大戦 ・ ロシア革命とソ連の成立</p>	<p>【知識・技能】 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟</p>					

	<p>の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解する。大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現する。第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 20世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米騒動と大正デモクラシー ・ ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・ アジアの民族運動 ・ 民族資本の形成と影響-インドの事例から考えよう- ・ 第一次世界大戦後の欧米諸国の実現 ・ 1920年代に花ひらいた大衆の文化 ・ 移動する人々-南洋へのまなざし- 	<p>の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 20世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	11
2 学 期	定期考査			○	○		1
	<p>経済危機と第二次世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世界恐慌と各国の対応 ・ ファシズムの時代 ・ 満洲事変と軍部の対立 ・ 日中戦争と戦時体制 ・ 第二次世界大戦の勃発 ・ 第二次世界大戦の終結 ・ 国際連合の成立と冷戦 ・ 日本占領と日本国憲法 ・ 朝鮮戦争と日本 ・ 満洲移民・引揚・戦後開拓-戦争と人々の移動- ・ 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題 	<p>【知識・技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

<p>冷戦と脱植民地化</p> <p>【知識及び技能】 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 1950年代の冷戦期から1970年代の石油危機で日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ グローバル化への問い ・ 植民地の独立 ・ 核実験と核競争 ・ 米ソ両陣営の動揺 ・ 高度経済成長 ・ 日本の国際社会復帰と高度経済成長 ・ 沖縄からみたベトナム戦争 	<p>【知識・技能】 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 1950年代の冷戦期から1970年代の石油危機で日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>多極化する世界</p> <p>【知識及び技能】 石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解する。冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 1970年代に入り石油危機などが起きたころから21世紀の現代までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 石油危機と世界経済 ・ パレスティナ問題の変遷 ・ 緊張緩和から冷戦の終息へ ・ 日本の経済大国化 ・ 多国籍企業について考えるー私たちの身近にある「グローバル」ー 	<p>【知識・技能】 石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 1970年代に入り石油危機などが起きたころから21世紀の現代までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>グローバル化と現代世界</p> <p>【知識及び技能】 歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域紛争と対立 ・ 国際秩序の変容 ・ グローバル化のなかの日本 ・ 持続可能な社会をめざしてー私たちが考えるべきことは何かー 	<p>【知識・技能】 歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 事象の背景や原因、結果や影響などに着目し</p>				

3
学
期

<p>事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 21世紀に入って日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	<p>・ 現代的な諸課題の形成と展望</p>	<p>て、日本とその他の国や地域の動向を比較し相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 21世紀に入って日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>定期考査</p>			○	○		1

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（2学年用）教科 公民 科目 政治・経済

教科：公民 科目：政治・経済 単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組 必修選択

使用教科書：（実教出版 最新 政治・経済）

教科 公民 の目標

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解するとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したりする力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 政治・経済 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	民主政治の基本原則 【知識・技能】 ・政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・政党政治などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、民主政治の基本原則における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	1. 政治と法 2. 民主政治と人権保障の発展 3. 国民主権と民主主義の発展 4. 世界の政治制度	民主政治の基本原則 【知識・技能】 ・政治と法の意義と機能、基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義について、現実社会の諸事象を通して理解を深めようとしている。 【思考・判断・表現】 ・政党政治などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、民主政治の基本原則における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	5
	日本国憲法の基本的性格 【知識・技能】 ・基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】 ・民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、日本国憲法の基本的性格における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	1. 日本国憲法の成立 2. 平和主義 3. 基本的人権の保障 4. 人権の広がり	日本国憲法の基本的性格 【知識・技能】 ・基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めようとしている。 【思考・判断・表現】 ・民主政治の本質を基に、日本国憲法と現代政治の在り方との関連について多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、日本国憲法の基本的性格における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。	○	○	○	5
	定期考査				○	○	
	日本の政治機構 【知識・技能】 ・基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 【思考・判断・表現】	1. 立法 2. 行政 3. 司法 4. 地方自治	日本の政治機構 【知識・技能】 ・基本的人権の保障と法の支配、権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めようとしている。 【思考・判断・表現】				

	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、日本の政治機構における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現しようとしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、日本の政治機構における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	8		
現代日本の政治	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代日本の政治における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	<p>1. 戦後政治の歩み</p> <p>2. 選挙制度</p> <p>3. 政治参加と世論</p>	現代日本の政治	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利と義務との関係、議会制民主主義、地方自治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めようとしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・政党政治や選挙などの観点から、望ましい政治の在り方及び主権者としての政治参加の在り方について多面的・多角的に考察、構想し、表現しようとしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代日本の政治における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	7
定期考査			○	○		1		
経済社会の変容	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動について多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、経済社会の変容における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	<p>1. 経済活動の意義</p> <p>2. 経済社会の形成と変容</p>	経済社会の変容	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動について、現実社会の諸事象を通して理解を深めようとしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動について多面的・多角的に考察し、表現させる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、経済社会の変容における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	8
現代経済のしくみ	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代経済のしくみにおける学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	<p>1. 市場機構</p> <p>2. 現代の企業</p> <p>3. 国民所得と経済成長</p> <p>4. 金融のしくみ</p> <p>5. 財政のしくみ</p>	現代経済のしくみ	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めようとしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場経済の機能と限界、持続可能な財政及び租税の在り方、金融を通じた経済活動の活性化について多面的・多角的に考察、構想し、表現しようとしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代経済のしくみにおける学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	3
定期考査			○	○		1		
現代経済と福祉の向上	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めること。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代経済と福祉の向上における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	<p>1. 経済の停滞と再生</p> <p>2. 日本の中小企業と農業</p> <p>3. 国民の暮らし</p> <p>4. 環境保全と公害防止</p> <p>5. 労使関係と労働条件の改善</p> <p>6. 社会保障の役割</p>	現代経済と福祉の向上	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めること。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動と福祉の向上との関連について多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代経済と福祉の向上における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	4
現代日本における諸課題の探究	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会の自立と政府 	<p>1. 地域社会の自立と政府</p> <p>2. 防災と安全・安心な社会の実</p>	現代日本における諸課題の探究	<p>【知識・技能】</p>				

<p>・現代日本における政治・経済の諸課題について、必要な知識を習得している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方を可能にする社会、産業構造の変化と起業、歳入・歳出両面での財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。</p>	<p>現</p> <p>3. 歳入・歳出両面での財政健全化</p> <p>4. 産業構造の変化と企業</p> <p>5. 食料の安定供給の確保と持続可能な職業構造の実現</p> <p>6. 多様な働き方・生き方を可能にする社会</p> <p>7. 少子高齢社会における社会保障の充実・安定化</p>	<p>・現代日本における政治・経済の諸課題について、必要な知識を習得しようとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・少子高齢社会における社会保障の充実・安定化、地域社会の自立と政府、多様な働き方・生き方を可能にする社会、産業構造の変化と起業、歳入・歳出両面での財政健全化、食料の安定供給の確保と持続可能な農業構造の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>現代の国際政治</p> <p>【知識・技能】</p> <p>・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代の国際政治における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。</p>	<p>1. 国際政治の特質と国際法</p> <p>2. 国際連合と国際協力</p> <p>3. 現代国際政治の動向</p> <p>4. 核兵器と軍縮</p> <p>5. 国際紛争と難民</p> <p>6. 国際政治と日本</p>	<p>現代の国際政治</p> <p>【知識・技能】</p> <p>・国際社会の変遷、人権、国家主権、領土（領海、領空を含む。）などに関する国際法の意義、国際連合をはじめとする国際機構の役割、我が国の安全保障と防衛、国際貢献について、現実社会の諸事象を通して理解を深めようとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・国際社会の特質や国際紛争の諸要因を基に、国際法の果たす役割について多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代の国際政治における学習上の課題を意欲的に解決しようとしようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>現代の国際経済</p> <p>【知識・技能】</p> <p>・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>	<p>1. 商品・資本の流れと国際収支</p> <p>2. 国際経済体制の変化</p> <p>3. グローバル化と金融危機</p> <p>4. 地域経済統合と新興国の台頭</p> <p>5. 地球環境とエネルギー</p> <p>6. 経済協力と人間開発の課題</p>	<p>現代の国際経済</p> <p>【知識・技能】</p> <p>・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めようとしている。</p> <p>【思考・判断・表現】</p>				

3 学 期	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代の国際経済における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・相互依存関係が深まる国際経済の特質について多面的・多角的に考察し、表現しようとしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現実社会の諸課題について主体的に追究して、現代の国際経済における学習上の課題を意欲的に解決しようとしている。 	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	<p>国際社会の諸課題の探究</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化する国際社会の諸課題について、必要な知識を習得している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長市場、人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりなどについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化する国際社会の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 紛争の解決に向けた国際社会の取組み 2. グローバル化にともなう人々の生活や社会の変容 3. イノベーションと成長市場 4. 地球環境と資源・エネルギー問題 5. 国際経済格差の是正と国際協力 6. 持続可能な国際社会づくり 	<p>国際社会の諸課題の探究</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化する国際社会の諸課題について、必要な知識を習得しようとしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化に伴う人々の生活や社会の変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際経済格差の是正と国際協力、イノベーションと成長市場、人種・民族問題や地域紛争の解決に向けた国際社会の取組、持続可能な国際社会づくりなどについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、よりよい社会の在り方についての自分の考えを説明、論述しようとしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グローバル化する国際社会の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	3
合計							70

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科：数学 科目：数学Ⅱ 単位数：4 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（最新 数学Ⅱ（数研出版））

教科 数学 の目標

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 三角関数</p> <p>【知識及び技能】 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 角の概念を一般角まで拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解すること。 (イ) 三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 (ウ) 三角関数の相互関係などの基本的な性質を理解すること。 (エ) 三角関数の加法定理や2倍角の公式、三角関数の合成について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 三角関数に関する様々な性質について考察するとともに、三角関数の加法定理から新たな性質を導くこと。 (イ) 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察すること。 (ウ) 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項 三角関数 三角関数の値の範囲 三角関数の相互関係 三角関数を含む式の値 三角関数の性質 $y=\sin \theta$、$y=\cos \theta$ のグラフ $y=\tan \theta$ のグラフ いろいろな三角関数のグラフ 三角関数を含む方程式 三角関数を含む不等式 三角関数を含む方程式の応用 正弦・余弦の加法定理 正弦・余弦の加法定理 正接の加法定理 半角の公式 三角関数を含む方程式 2倍角の公式 三角関数の合成</p> <p>・教材 教科書、副教材、プリント、振り返りシート</p>	<p>【知識・技能】 ・三角関数について理解し、関数についての理解を深めている。 ・三角関数のグラフの特徴について理解している。 ・三角関数の周期について理解し、そのグラフをかくことができる。 ・三角関数の方程式や不等式を解くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・三角関数の加法定理や三角関数の合成を、証明を通して認識できる。 ・三角関数の相互関係や加法定理を用いて式を簡単にすることについて考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする。</p>	○	○	○	25
定期考査			○	○		1
<p>B 式と証明</p> <p>【知識及び技能】 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 三次の乗法公式及び因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をするこ と。 (イ) 多項式の除法や分数式の四則計算の法則について理解し、簡</p>	<p>・指導事項 展開の公式 因数分解 パスカルの三角形 二項定理 多項式の割り算 分数式の約分 分数式の乗法・除法 分数式の加法・減法</p>	<p>【知識・技能】 ・因数定理について理解している。 ・3次式の乗法公式や因数分解の公式を用いて計算することができる。 ・商と余りの関係や因数定理を自由に使うことができる。 ・簡単な高次方程式を解くことができる。 ・恒等式や不等式の性質について理解を深め、それらを利用して式の証明をすることができる。</p>				

<p>期別計算の方法について理解し、簡単な場合について計算をすること。 (ウ) 因数定理について理解し、簡単な高次方程式について因数定</p>	<p>因式、等式の証明 等式の証明 不等式の証明 相加平均と相乗平均</p>	<p>じえる。 【思考・判断・表現】 ・ 整式の除法について整数と同じように考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】</p>				
--	---	---	--	--	--	--

<p>理などを用いてその解を求めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 式の計算の方法を既に学習した数や式の計算と関連付け多面的に考察すること。 (イ) 実数の性質や等式の性質、不等式の性質などを基に、等式や不等式が成り立つことを論理的に考察し、証明すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・教材 教科書、副教材、プリント、振り返りシート</p>	<p>・事象を式と証明の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、評価・改善したりしようとする。</p>	○	○	○	18
<p>C 複素数と方程式</p> <p>【知識及び技能】 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則計算をすること。 (イ) 二次方程式の解の種類、判別式及び解と係数の関係について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、方程式を問題解決に活用すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項 複素数 複素数の相当 複素数の計算 負の数の平方根 2次方程式の解 解の公式 判別式 解と係数の関係 2次式の因数分解 2数を解とする2次方程式 剰余の定理 因数定理 高次方程式の解法</p> <p>・教材 教科書、副教材、プリント、振り返りシート</p>	<p>【知識・技能】 ・複素数の相等関係について理解している。 ・判別式や解と係数の関係について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・方程式の解を発展的にとらえ、数の範囲を複素数まで拡張して2次方程式を解くことや、因数分解を利用して高次方程式を解くことについて考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を複素数と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、評価・改善したりしようとする。</p>	○	○	○	15
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>D 図形と方程式</p> <p>【知識及び技能】 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 座標を用いて、平面上の線分を内分する点、外分する点の位置や二点間の距離を表すこと。 (イ) 座標平面上の直線や円を方程式で表すこと。 (ウ) 軌跡について理解し、簡単な場合について軌跡を求めること。 (エ) 簡単な場合について、不等式の表す領域を求めたり領域を不等式で表したりすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、それを方程式を用いて表現し、図形の性質や位置関係について考察すること。 (イ) 数量と図形との関係などに着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて軌跡や不等式の表す領域を座標平面上に表すなどして、問題解決に活用したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項 数直線上の2点間の距離 線分の内分点、外分点 線分の内分点、外分点の座標 座標平面上の点 座標平面上の2点間の距離 内分点、外分点の座標 三角形の重心 1点を通り、傾きがmの直線 2点を通る直線 x, yの1次方程式ax+by+c=0の表す図形 2直線の交点を通る直線 2直線の平行 2直線の垂直 点と直線の距離 円の方程式 方程式x²+y²+2lx+my+n=0の表す図形 3点を通る円 円と直線の共有点の座標 円と直線の位置関係 円の接線の方程式 円外の点から引いた接線 座標平面上の軌跡 直線を境界線とする領域 円を境界線とする領域 連立不等式の表す領域 領域と最大・最小</p> <p>・教材 教科書、副教材、プリント、振り返りシート</p>	<p>【知識・技能】 ・図形を条件を満たす点の集合として見ることや、不等式を満たす点の集合が座標平面の一部分を表すことなどを理解している。 ・図形と方程式の関係を理解している。座標や式を用いて、直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に処理することができる。 ・直線の方程式や円の方程式を求めることができる。 ・与えられた条件を満たす点の軌跡を求めることができる。 ・不等式の表す領域を図示できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・平面図形とそれを表す方程式の関係を理解し、いろいろな図形について考察できる。 ・円と直線の位置関係が2次方程式の解の判別に帰着することについて考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとし、評価・改善したりしようとする。</p>	○	○	○	30

学期	定期考査					1	
	<p>E 指数関数と対数関数</p> <p>【知識及び技能】 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 指数を正の整数から有理数へ拡張する意義を理解し、指数法則を用いて数や式の計算をすること。 (イ) 指数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 (ウ) 対数の意味とその基本的な性質について理解し、簡単な対数の計算をすること。 (エ) 対数関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 指数と対数を相互に関連付けて考察すること。 (イ) 指数関数及び対数関数の式とグラフの関係について、多面的に考察すること。 (ウ) 二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項 正の整数の指数 0や負の整数の指数 累乗根 有理数の指数 指数関数$y=a^x$のグラフ 指数関数の性質 指数関数を含む方程式と不等式 対数 対数の性質 底の変換公式 対数関数$y=\log[a]x$のグラフ 対数関数の性質 対数関数を含む方程式と不等式 常用対数 常用対数の応用</p> <p>・教材 教科書、副教材、プリント、振り返りシート</p>	<p>【知識・技能】 ・指数を正の整数から有理数まで拡張することの意味や指数法則について理解している。 ・指数関数および対数関数について理解し、関数についての理解を深めている。 ・累乗や対数の値を求めたり、大小関係を考察したり、指数や対数の式を簡単にしたりすることができる。 ・指数関数や対数関数を含む方程式や不等式を解くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・指数関数や対数関数のグラフの特徴を理解し、グラフを通して指数関数や対数関数の簡単な性質について考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を指数関数と対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする。</p>	○	○		19
	定期考査					1	
3学期	<p>F 微分法と積分法</p> <p>【知識及び技能】 次のような知識及び技能を身に付けること。 (ア) 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めること。 (イ) 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解すること。 (ウ) 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 関数とその導関数との関係について考察すること。 (イ) 関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること。 (ウ) 微分と積分の関係に着目し、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める方法について考察すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	<p>・指導事項 平均変化率 極限值 微分係数 微分係数と接線 導関数 関数x^nの導関数 導関数の性質 関数の微分 接線の方程式 曲線上にない点から曲線に引いた接線 関数の増減と導関数 増減表 関数の極大・極小 関数の最大・最小 方程式への応用 不等式への応用 不定積分 関数x^nの不定積分 不定積分の性質 不定積分の計算 定積分 定積分の性質 定積分と微分法 定積分と面積 2つの曲線の間の面積</p> <p>・教材 教科書、副教材、プリント、振り返りシート</p>	<p>【知識・技能】 ・具体的な事象の考察を通して微分・積分の考えを理解し、それを用いて関数の値の変化を調べることや面積を求めることができることを理解している。 ・関数の増加・減少および極値を調べることができ、グラフの概形をかくことができる。 ・微分法の逆演算として不定積分を導入し、整関数の不定積分や定積分の計算ができる。 ・定積分の応用問題を解くことができる。 ・曲線や直線が囲む部分の面積を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・平均変化率と微分係数の図形的な関係を考察できる。 ・微分法の逆演算としての不定積分について考察できる。 ・定積分と面積の関連について考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を微分法と積分法の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする。</p>	○	○		28
	定期考査					1	
						合計	
						140	

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学B

教科： 数学

科目： 数学B

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 3 組～ 6 組

使用教科書：（ 数研出版 新編 数学B ）

教科 数学 の目標

- 【知識及び技能】 基本的な概念や原理・法則を理解させ、数学的に表現・処理する技能を身に付けさせる。
- 【思考力、判断力、表現力等】 事象を論理的に考察し、数学的に簡潔に的確に表現する能力を身に付けさせる。
- 【学びに向かう力、人間性等】 広く数学を活用できることを認識し、問題解決のための考察を深める基本的な姿勢を養う。

科目 数学B の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 等差数列と等比数列 【知識及び技能】 数列やその一般項の表し方について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 等差数列と等比数列を理解し、それらの和を工夫して求められるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 等差数列と等比数列を様々な事象の考察に役立てようとする姿勢を養う。	・指導事項 数列と一般項、等差数列、等差数列の和、等比数列、等比数列の和、問題演習 ・教材 教科書、ワーク、プリント等	【知識・技能】 数列の定義、表記について理解し、等差数列と等比数列の一般項と和を公式を用いて求めることができる。 【思考・判断・表現】 数の並び方からその規則性を推定して、数列の一般項を考察できる。 等差数列・等比数列の和を工夫して求める方法について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 等差数列の和を工夫して求める方法に興味を持ち、等差数列の和の公式を導こうとする意欲がある。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	B いろいろな数列 【知識及び技能】 和の記号Σの表し方や性質を理解し、活用できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 いろいろな数列について、その一般項や和を求めたり、和から一般項を求めたりできるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 和を様々な方法で工夫して求めようとする姿勢を養う。	・指導事項 和の記号Σ、階差数列、いろいろな数列の和、問題演習 ・教材 教科書、ワーク、プリント等	【知識・技能】 記号Σの意味と性質を理解し、数列の和が求められる。 階差数列を利用してもとの数列の一般項が求められる。 【思考・判断・表現】 数列の規則性に発見に階差数列が利用できる。 初項から第n項までの和に着目して、一般項を考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 数列の規則性を、隣り合う2項の差を用いて発見しようとする。	○	○	○	12
定期考査			○	○		1	
2 学期	C 漸化式と数学的帰納法 【知識及び技能】 数列の帰納的な定義について理解し、漸化式から一般項が求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 複雑な漸化式を既知のものに帰着して考えられるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 数学的帰納法の仕組みを理解し、様々な命題の証明に活用しようとする姿勢を養う。	・指導事項 漸化式、数学的帰納法、問題演習 ・教材 教科書、ワーク、プリント等	【知識・技能】 漸化式の意味を理解し、具体的に項が求められる。 初項と漸化式から数列の一般項が求められる。 【思考・判断・表現】 自然数nに関する命題の証明には、数学的帰納法が有効なことを理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 置き換えや工夫を要する複雑な漸化式について、考察しようとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学期	D 確率分布 【知識及び技能】 確率変数と確率分布について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 期待値や分散、標準偏差などを求めることを通して、分布の特徴を把握できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 確率的な試行の結果を確率分布で表そうとする姿勢を養う。	・指導事項 確率変数と確率分布、確率変数の期待値と分散、確率変数の和と積、問題演習 ・教材 教科書、ワーク、プリント等	【知識・技能】 確率変数や確率分布について、用語の意味を理解している。 確率変数の期待値、分散、標準偏差を求めることができる。 【思考・判断・表現】 確率変数の積の期待値や和の分散と確率変数の性質との相互関係がとらえられている。 【主体的に学習に取り組む態度】 確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることよき気づき、確率分布について積極的に考察しようとする。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学期	E 二項分布・正規分布と統計的な推測 【知識及び技能】 二項分布、正規分布の意味を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 正規分布の特徴を理解し、様々な視点から捉えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 仮説検定の考え方をを用いて、日常の身近な事象に対する主張を検定しようとする姿勢を養う。	・指導事項 二項分布、正規分布、母集団と標本、標本平均の分布、推定、仮説検定、問題演習 ・教材 教科書、ワーク、プリント等	【知識・技能】 二項分布に従う確率変数の期待値や分散を求めることができる。 標準正規分布を用いて、正規分布に関する確率の計算ができる。 標本平均の分布を正規分布で近似して確率を求めることができる。 【思考・判断・表現】 正規分布を様々な日常の事象の考察に活用できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 仮説検定を用いて、日常の身近な事象に対する主張を積極的に検定しようとする。	○	○	○	17
	定期考査			○	○		1

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 理科 科目 物理基礎

教科：理科

科目：物理基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（改訂版 新編 物理基礎）

教科 理科 の目標

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物体の運動とさまざまなエネルギーについて、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けるとともに、物体の運動とさまざまなエネルギーに関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	物体の運動とさまざまなエネルギーに関する事物・現象の中に問題をみだし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	日常生活や社会との関連を図りながら物体の運動とさまざまなエネルギーについて関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
運動の表し方 ・直線運動における変位、速度、加速度などの運動の表し方を理解する。 ・相対速度や速度の合成の学習を通して、速度がベクトル量であることを理解する。	運動の表し方 ・速さとその表し方 ・等速直線運動 ・速さと速度、変位 ・速度の合成と相対速度	【知識・技能】 ・相対速度を求めることができる。 ・合成速度を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・速度を実験器具を使って測定しながら運動を解析し、量的な関係をとらえることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・斜面を滑り降りる台車の加速度を調べようとする。	○	○	○	4
運動の表し方 ・等加速度運動における「時間と変位」「時間と速度」の関係を理解する。 ・空気抵抗がなければ、質量や体積によらず、一律に自由落下運動をすることを理解する。 ・自由落下運動や鉛直投げ下ろし運動、鉛直投げ上げ運動の「時間」「速度」「変位」の関係式を理解する。 ・水平投射運動や斜方投射運動について定性的に理解する。	運動の表し方 ・加速度 ・等加速度直線運動 ・自由落下運動・鉛直投げ下ろし運動 ・鉛直投げ上げ運動・水平投射運動	【知識・技能】 ・等加速度運動の式を用いて、時間・変位・速度をそれぞれ求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・変位や速度、加速度といった、運動の基礎となる量を理解し、それらを組みあわせて運動を物理学的に理解できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日常見かける物体の加速度運動をもとに、速度の変化と加速度の関係について、調べようとする。	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
1 学期 力と運動の法則 ・力とは何か理解する。 ・重さと質量の違いを理解する。 ・固体には弾性があり、一般にはフックの法則に従うことを理解する。 ・力の合成、分解、つりあいなど、力の性質を理解する。 ・作用反作用の法則を理解する。 ・摩擦力、抵抗力、浮力などのさまざまな力について理解する。	力と運動の法則 ・力 ・力の合成・分解 ・力のつりあい ・作用反作用 ・慣性の法則	【知識・技能】 ・フックの法則を用いて、ばねの変位と復元力の大きさをそれぞれ求めることができる。 ・つりあいの関係にある力と作用反作用の関係にある力を判別できる。 【思考・判断・表現】 ・物体が受ける力を「AがBから受ける力」と説明できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・力の性質をもとに、力がはたらいたときの物体の運動のようすを調べようとする。	○	○	○	7
力と運動の法則 ・慣性の法則を理解する。 ・力と加速度の関係を理解し、運動の法則を理解する。 ・運動方程式を立てて、物体の運動のようすを調べる。	力と運動の法則 ・運動の法則(力と加速度の関係) ・運動の法則(質量と加速度の関係) ・運動方程式 ・摩擦力 ・圧力と浮力	【知識・技能】 ・力と加速度の関係、質量と加速度の関係から、運動方程式を導くことができる。 ・運動の原因となる力をさぐる過程を通して運動の法則を理解し、さらに未知の運動を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・動きを調べる際の基準点を変えても、運動を正しく表現できる。 ・摩擦力などがはたらく場合の物体の運動のようすがわかる。 ・運動に関する物理量の量的関係と向きに関する関係を理解し、運動の法則に基づき、さまざまな運動の規則性を見つげることができる。 ・運動の法則に基づき、さまざまな運動を理解し、物体の位置や速度を予測できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・力と加速度、質量と加速度の関係を調べようとする。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1

	<p>運動とエネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エネルギーと仕事の基礎概念を理解する。 ・仕事と仕事率について理解する。 ・運動エネルギーと位置エネルギーについて理解し、一定の条件のもとで力学的エネルギーが保存することを理解する。 	<p>運動とエネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事 ・仕事の性質と仕事率 ・運動エネルギー ・位置エネルギー ・力学的エネルギー保存の法則 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事の物理的な意味を理解し、求めることができる。 ・エネルギーという概念を理解し、物理現象をエネルギーの観点から求めることができる。 ・運動について個々の物理量の量的関係を理解し、求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものを楽に運ぶ工夫、道具の使い方などを比較し、仕事をする能力について量的法則性があることを理解できる。 ・運動についての事象に共通するエネルギーという考え方を理解できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・速度や力といった直接測定できる量を組みあわせ、運動エネルギーなどの新たな量的関係を類推しようとする。 	○	○	○	6
	<p>熱とエネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巨視的に見た熱の正体、微視的に見た熱の正体を理解する。 ・物質の三態や温度について理解する。 ・熱容量や比熱について理解する。 ・熱力学第一法則について理解する。 ・熱機関について理解する。 ・不可逆現象について理解する。 	<p>熱とエネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱と温度 ・温度変化に必要な熱量 ・熱の移動と比熱の測定 ・熱と仕事 ・熱機関の効率 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・位置、運動、熱といった一見異なるエネルギー間に、換算できる量的法則性があることを理解し、求めることができる。 ・熱について個々の量的関係を理解できる。 ・エネルギーの保存と、熱と仕事の変換、熱的現象の不可逆性などを理解できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱的現象を、物理量を用いて表そうとする。 ・仕事・熱・エネルギーの関係について、応用して考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・熱量の保存を調べようとする。 	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>波の性質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波とは、媒質の振動が次々と時間をかけて伝わっていく現象であることを理解する。 ・波の式 $v = f\lambda$ を理解する。 ・波には横波と縦波があることを理解する。 ・波の反射について理解する。 	<p>波の性質</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波とは何か ・波の性質 ・横波と縦波 ・波の重ねあわせの原理 ・定在波 ・波の反射 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波動現象を、物理量で表現することができる。 ・波の重ね合わせや固定端、自由端での反射を作図することができる。 ・定在波を作図することができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重ねあわせの原理を用いて説明がつくさまざまな現象を、その生じる条件の違いをもとに区別して理解できる。 ・さまざまな波動現象を部分部分の周期的な動きの伝わりとして、視点を部分と全体間を行き来させる観測ができる。 ・波動現象を表すグラフの意味を、実際の現象と照らし合わせて説明できる。 ・波動現象を再現でき、波動として特徴あるふるまいを指摘でき、グラフでも表現できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな波の現象の存在を理解し、1つの物体の運動とは異なり、振動が伝わる量的な関係を理解しようとしている。 	○	○	○	7
	<p>音と振動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音の伝わり方は、波の性質を示すことを理解する。 ・定常波の知識から、発音体の振動を理解させ、そこから発せられる音との関係を考えられる。 ・波の重ねあわせから、うなりについて理解する。 ・気柱の共鳴や共振について理解する。 	<p>音と振動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音の伝わり方 ・弦の振動 ・気柱の振動 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音の三要素を、波動現象として説明できる。 ・共鳴や共振を、波動現象として説明できる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音の性質を、物理現象として説明できる。 ・共鳴やうなりといった音の性質を説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気柱の共鳴から規則性を見いだそうとする。 	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 理科 科目 生物基礎

教科 理科 科目 生物基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 高校生物基礎visual 実教出版 ）

教科 理科 の目標

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物基礎 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通して、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書を作成した	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度が養われている。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第1章 生物の特徴</p> <p>1節 生物の多様性と共通性</p> <p>【知識及び技能】 生物の共通性と多様性についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物の共通性と多様性に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見出して理解する。 生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解させる。 生物に共通する性質は細胞であることを理解させる。また、細胞にも原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに理解させる。 一人1 台端末の活用 等 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 原核細胞と真核細胞の違いについて、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料や実験をもとに、生物に共通する性質を見出し表現することができる。 細胞におけるDNAのはたらきについて理解し、説明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生物の共通性を、実験や観察を通して見出し、理解しようとする。 原核細胞と真核細胞について、細胞に含まれる細胞小器官をもとに、違いを理解しようとする。 	○	○	○	8
<p>2節 生物とエネルギー</p> <p>【知識及び技能】 生物とエネルギーについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生物とエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解させる。その際、呼吸と光合成の概要を扱う。 代謝の反応が行われるときに、酵素がどのように関与しているのか理解させる。 光合成や呼吸がATPを合成する反応であることを理解させる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、ATPと関連づけて考察し、それを表現できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に基づいて、生命活動にエネルギーが必要であることを理解しようとする。また、呼吸や光合成から得ていることを理解しようとする。 体内で行われる化学反応は、酵素が関わっていることを理解しようとする。 	○	○	○	6
<p>1学期</p> <p>定期考査</p>			○	○		1
<p>第2章 遺伝子とその働き</p> <p>1節 遺伝情報とDNA</p> <p>【知識及び技能】 遺伝情報とDNAについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 遺伝情報とDNAに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> DNAの構造や性質を、研究史を展開しながら理解させる。 DNA、遺伝子、ゲノムの関係性を理解させる。 DNAが体細胞分裂の際に複製され、質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解させる。 DNAの複製・分裂は細胞周期にあわせて行われることを理解させる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> DNAが二重らせん構造であること、2本鎖の塩基配列は相補的であることを理解している。 ゲノム、遺伝子、染色体、DNAの関係を理解している。 体細胞分裂が行われる際に、遺伝情報の同一性が保たれることを理解している。 生物の組織からDNAを抽出する技能を習得している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に基づき、DNAの構造を科学的に見出すことができる。 DNAの複製を塩基配列と関連付けて説明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> DNAの性質や構造を、DNAの研究史とともに理解しようとする。 ゲノムと遺伝子、染色体、DNAの関係につ 	○	○	○	8
<p>2節 遺伝情報とタンパク質の合成</p> <p>【知識及び技能】 遺伝情報とタンパク質の合成についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解させる。 DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われるこ 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> DNAの塩基配列に基づいて、タンパク質が合成されることを理解している。 遺伝子の発現について理解し、細胞ごとに特定の遺伝子が発現することを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p>				

	<p>する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 遺伝情報とタンパク質の合成に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>とを理解させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての遺伝子が細胞内でつねに発現しているわけではないことを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> DNAの遺伝情報に基づいてタンパク質が合成される過程を体系的に考察し、表現できる。 mRNAとアミノ酸との対応関係について、遺伝暗号表から読み解くことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> DNAの塩基配列の情報に基づいて、タンパク質が合成されることを理解しようとする。 	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>第3章 ヒトのからだの調節</p> <p>1節 体内環境</p> <p>【知識及び技能】 体内環境についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体内環境に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 動物が体内環境をもち、外界からの影響を適切に調節していることを理解させる。 恒常性により、体内環境が保たれていることを理解させる。 体液を調節することで、体内環境が保たれていることを理解させる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 体内環境が一定の範囲に保たれることとその意味を理解している。 肝臓による物質の合成・分解などのしくみや、腎臓での塩類濃度の調節を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 腎臓の働きについて体系的に理解し、ろ過・再吸収のしくみを説明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 肝臓や腎臓の機能を理解し、人体についての理解を深めようとする。 	○	○	○	6
	<p>2節 体内環境の維持のしくみ</p> <p>【知識及び技能】 体内環境の維持のしくみについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体内環境の維持のしくみに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 体内での情報の伝達がからだの調節に関係していることを見出して理解させる。 体内環境の調節に、神経系と内分泌系が関わっていることを理解させる。 体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見出して理解させる。 ヒトの体液濃度の調節が、自律神経とホルモンの作用により一定の範囲に保たれていることを理解させる。 血糖濃度がホルモンと自律神経が関わるしくみで調節されていることについて理解させ、調節ができなくなったときに発症する疾患についても触れる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 神経やホルモンの働きにより体内環境が維持されることを理解している。 ホルモンの分泌により血糖濃度が保たれることを理解しており、ホルモンの分泌不足による発症する疾患についての知識を得ている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> からだの調節に関する観察、実験などを行い、体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見出して理解することができる。 血糖濃度調節のしくみを、ホルモンと自律神経系の両方の働きから説明できる <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観察、実験に基づいて、体内での情報の伝達がからだの調節に関係していることを見出し、理解しようとする。 資料に基づいて、ヒトの血糖濃度が調節されるしくみを見出し、理解しようとする。 	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	<p>3節 免疫</p> <p>【知識及び技能】 免疫についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 免疫に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ヒトには異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解させる。 病原体の侵入を防ぐための、異物を認識し、排除するしくみを理解させる。 免疫のしくみの概要を取り上げ、体液性免疫や細胞性免疫について理解させる。 一次応答と二次応答の違いを理解させ、同じ疾患に二度かかりにくい理由を考察させる。 ヒトの身近な免疫疾患について理解させる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 病原体などの異物を認識・排除するしくみを理解している。 免疫の医療への応用やヒトの免疫疾患について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に基づき、異物を排除する防御機構が備わっていることを見出して理解することができる。 病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができる。 ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 免疫について、身近な現象と絡めて理解しようとする。 	○	○	○	8
<p>第4章 生物の多様性と生態系</p> <p>1節 生態系とその成り立ち</p> <p>【知識及び技能】 生態系とその成り立ちについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生態系とその成り立ちに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生物は環境からの影響を受けながら存在し、生態系には多様な生物が存在することを理解させる。 陸上には、草原や森林などのさまざまな植生があることを理解させる。 植生は不変ではなく、光の量や植生をとり巻く環境から影響を受けて変化していくことを理解させる。 環境形成作用により土壌が形成されることを理解させる。 植生内の光環境の変化や土壌の発達によって遷移が進行することを理解させる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 陸上には、森林・草原・砂漠などの多くの植生がみられ、植物をとり巻く環境や構成種により植生が変わっていくことを理解している。 植生の遷移についてその過程を理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に基づいて、遷移の要因を見出して理解することができる。 植生の遷移が、光環境や土壌の変化によってどのように進むかを説明できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料に基づいて、植生が変化する要因を見出し、その要因が植生にどのように影響するかを理解しようとする。 	○	○	○	6	
定期考査			○	○		1	
<p>2節 植生とバイオーム</p> <p>【知識及び技能】 植生とバイオームについての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 植生とバイオームに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 気温や降水量の違いにより、地球上には多くのバイオームが成立していることを理解させる。 遷移の結果として森林・草原・荒原のバイオームとなることを理解させる。 バイオームの構成要素である植物種を取り上げ、その場所の気温や降水量に適合していることを理解させる。 日本のバイオームについても、その構成種とともに理解させる。 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球上には、気温や降水量ごとにさまざまなバイオームが成立していることを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気温や降水量によって成立するバイオームが異なるのは、バイオームを構成する植物種がその場所の気温や降水量に適合しているためであると考察し、それを表現することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球上にはさまざまなバイオームが成立していることを理解しようとする。 	○	○	○	4	

3 学 期	<p>3節 生態系と生物の多様性 4節 生態系のバランスと保全</p> <p>【知識及び技能】 生態系と多様性、保全についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生態系と多様性、保全に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生態系における生物の種多様性について理解させる。 ・生物の種多様性と生物間の関係性を関連付けて理解させる。 ・捕食によって物質とエネルギーが移動することを理解させる。 ・生態系のバランスと、人為的攪乱によりそのバランスが崩れる場合があることを理解させる。 ・生態系の保全の重要性について認識させる。 ・自然環境の保全に寄与する態度を育てる。 	<p>【知識・技能】 ・生態系内における種多様性、生物どうしのかかわりあいについて理解している。</p> <p>・生態系のバランスや、生態系の保全の重要性について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・生態系と生物の多様性に関する観察、実験などから、生態系における生物の種多様性を見いだすことができる。</p> <p>・生態系の保全の重要性について、生物の多様性の視点から考察することができる。</p> <p>・世界の環境問題について、情報を調査し、自分の考えをまとめ、表現することができる。</p> <p>・生物が多様であることを、食物網や間接効果と関連付けて説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・生態系のバランスや、生態系を保全することが重要であることを理解しようとする。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
						合計	70

東京都立千歳丘高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 理科 科目 化学基礎演習

教科：理科

科目：化学基礎演習

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 4 組～ 7 組（必修選択）

使用教科書：（新編化学基礎 数研出版）

教科 理科 の目標

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎演習 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
物質とその変化についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。	観察、実験で得られた情報を記録し、グラフ化など適切な処理を行えるようにする。結果を考察し、物質の本質について化学的に探究する。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、粘り強く学習に取り組み、自ら課題を解決する力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学期	酸と塩基の反応 【知識及び技能】 ・酸、塩基、塩の定義、中和反応について復習する 【思考力、判断力、表現力等】 ・塩の分類、塩の性質について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な酸、塩基の利用について興味を持つ。 ・中和滴定が、様々な酸、塩基の濃度測定に利用できることを理解する。	・アレニウスとブレンステッド・ローリーによる酸、塩基の定義 ・中和反応と塩の定義 ・塩の分類と性質 ・中和反応の量的関係 ・中和滴定	【知識及び技能】 ・アレニウスとブレンステッド・ローリーの酸・塩基の定義を理解している。 ・中和反応によって水と塩が生成することを理解し、主な酸塩基の中和反応式が書ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・正塩、酸性塩、塩基性塩の分類について理解している。 ・正塩の水溶液の性質について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な酸、塩基がどのように利用されているかを理解している ・中和滴定で様々な酸の濃度の違いを測定できる。	○	○	○	5
	酸化還元反応 1 酸化還元反応の定義と酸化数 【知識及び技能】 ・酸化還元反応の定義が電子の授受に拡張できることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・酸化数の求め方を理解する。 ・電子 e ⁻ を用いた半反応式で、酸化か還元のいずれかを表せることを理解する。 ・酸化剤、還元剤について理解する 【学びに向かう力、人間性等】 ・酸化と還元は同時に起こることに気づく。	・酸化還元反応の定義 ・酸化還元と電子の授受 ・酸化数 ・酸化還元反応の半反応式 ・酸化剤と還元剤	【知識及び技能】 ・酸化還元反応の古典的定義は酸素原子の授受、水素原子の授受があることを理解している。 ・酸化還元反応の定義が電子の授受に拡張できることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・酸化数の求め方を理解している。 ・原子がイオンになる反応やその逆反応を、電子 e ⁻ を用いた半反応式で、表し、酸化か還元を判断できる ・酸化剤、還元剤の定義と、主な酸化剤、還元剤の反応について理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・酸化と還元は同時に起こることに気づき、酸化剤が受け取った電子と還元剤が放出した電子の数が等しくなることを理解している。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

	<p>酸化還元反応2 金属の酸化還元反応</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属が陽イオンになることは酸化反応であることを理解する。 金属のイオン化傾向について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属の反応性の違いはイオン化傾向の違いによるものであることを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属の反応性の違いを実際に観察し、その原因を考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 金属と酸との反応性 金属が陽イオンになる半反応式 金属のイオン化傾向 イオン化列と金属の反応性 金属樹の生成反応 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属が陽イオンになることは酸化反応であることを理解しており、半反応式が書ける。 金属の陽イオンへのなりやすさをイオン化傾向と呼び、金属によって差があることを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属の反応性の違いはイオン化傾向の違いによるものであることを理解している。 金属と水溶液の組み合わせによって、金属樹が生成するかどうか判定し、そのイオン反応式が書ける。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 金属の反応性の違いを実際に観察し、その原因を考察できる。 	○	○	○	8
	<p>酸化還元反応3 酸化還元反応の利用</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学電池は酸化還元反応を利用したものと理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池の基本的なしくみを説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近にある電池の構造や、金属の利用と酸化還元反応の関係に興味を示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ボルタ電池 ダニエル電池 電池式と電池の構造 電池の極反応と酸化還元 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボルタ電池、ダニエル電池の構造と電池式、電極での反応式が書ける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学電池では負極で酸化反応、正極で還元反応が起こり、電子の流れが電流であると説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身近にある電池の構造や、金属の利用と酸化還元反応の関係に興味を示す。 	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
2 学期	<p>酸化還元反応4 電池と電気分解</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 一次電池と二次電池の違いを理解する。 二次電池の例として鉛蓄電池の構造と反応を理解する。 電解質水溶液の電気分解について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池と電気分解がいずれも酸化還元反応であり、逆反応の関係にあることを理解する。 ファラデーの法則を理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電気分解を利用した金属の製錬方法について理解する。 実際の電気分解を観察し、電気分解と生活との関りについて考察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 一次電池と二次電池 鉛蓄電池 電気分解と酸化還元 ファラデーの法則 電気分解と金属の精錬 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 充電できないものを一次電池、充電できるものを二次電池と呼ぶことを理解している。 二次電池の例として鉛蓄電池の構造と反応を理解している。 主な電解質水溶液の電気分解生成物を陽極・陰極ごとに考えられる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 電池と電気分解がいずれも酸化還元反応であり、逆反応の関係にあることを理解している。 電気量が電流値と電解時間より求められることを理解している。 電気分解で変化した物質の量は流れた電気量に比例することを理解している <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 銅の電解精錬、アルミニウムの溶融塩電解による製錬について理解している。 実際の電気分解を観察し、電気分解の工業生産物が身の回りであることを理解している。 	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	<p>物質の構成・物質の構成粒子</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 混合物・化合物・単体の違いを理解する 原子の構造と原子番号・質量数の関係を理解する 原子番号20番までの電子配置を生成するイオンを理解する 元素の周期律と電子配置との関係を理解する <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学式の表記より、単体と化合物が分類できる。 実験により、同一の元素であっても結合状態により物質の性質が異なることを理解する 同族元素の共通点や性質の違いに気づく イオン結晶の組成式はルールに基づいて書けることを理解する <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りの物質について興味を持ち、知識を深めようとする 	<ul style="list-style-type: none"> 物質の分類 原子と元素 原子の構造と電子配置 イオン 元素の周期表 イオン結合とイオン結晶 <p>・補助教材により上記内容の演習に取り組む</p> <p>・同素体、元素の検出、同族元素の性質などをテーマに生徒実験を行う</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 混合物・化合物・単体違いを定義できる 原子の表記から、陽子・中性子・電子数を答えられる 同位体の違いを説明できる 原子番号20番までの原子の電子配置と価電子を理解している 原子番号20番までの単原子イオンとその電子配置を理解している 元素の周期律と電子配置の関係を理解している <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主な単体・化合物の化学式が書ける 実験において、加熱や時間経過による物質の変化を記録し、物質内の粒子の結合状態の変化を考察できる 同族元素が、原子番号の変化によって徐々に性質が変化することを理解する イオン結晶の組成式をルールに基づいて書くことができる <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りの物質について興味を持ち、知識を深めている。 	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>物質・濃度・化学反応式とその量的関係</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 有効数字の概念を理解する。 物質の概念を理解する。 物質と粒子の数、質量、気体の体積を相互に変換できる。 モル濃度の概念を理解する。 化学変化は粒子の組み替えであり、粒子の数と質量が保たれることを理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題文の有効数字を読み取り、解答の有効数字を適切に表記できる。 物質とは基本粒子の数であることを理解する 化学反応式の係数を考え、正しい化学反応式が表せる。 化学反応式の係数から、物質の量的変化を質量や気体の体積変化で捉えることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>身近な現象に化学変化が関わっていることに気づき、化学反応式から量的関係を考察できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 有効数字とその表記 分子式・イオン式・組成式 物質の基礎概念 物質と粒子数・質量・気体体積の換算 モル濃度の定義 化学反応式の構成 化学反応式の係数 未定係数法 主な化学反応式 化学反応式の表す量的関係 <p>補助教材により上記内容の演習に取り組む。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 表記された有効数字の桁数が答えられる。 計算結果を指定された有効数字で表すことができる。 物質と粒子の数、質量、気体の体積を相互に換算できる。 溶質の物質質量や質量と溶液の体積からモル濃度を求められる。 化学変化は粒子の組み替えであり、正しい化学反応式では反応前後で原子の種類と数が一致していることを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 問題文の有効数字から、解答の有効数字を適切に答えられる 基本粒子の単位が変わると、物質が変わることを理解している 目算法で簡単な化学反応式の係数を考えられる。 化学反応式の係数は、過不足無く反応する時の物質の比であることを理解し、反応物や生成物の質量関係や気体体積関係を計算できる。 過不足のある反応が実際には存在し、それに対応した考え方ができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>身近な現象に化学変化が関わっていることに気づき、実験結果から量的関係を考察できる。</p>	○	○	○	10
	<p>粒子の結合</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 化学結合の種類を復習する 化学結合の種類によって結晶の種類が4種類に分かれることを復習する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 共有結合の極性について理解する。 共有結合によってできる分子の分類を理解する <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>様々な物質の性質の違いが、化学結合の違いに起因することを理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 化学結合の種類 結晶の種類とその性質の復習 イオン結晶の組成式 共有結合の成り立ちと極性 極性分子と無極性分子 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> イオン結合、共有結合、金属結合および分子間力の成り立ちを理解している。 4種類の結晶それぞれの成り立ちと性質を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 共有結合の極性について理解している。 極性分子と無極性分子の違いについて理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>様々な物質の性質の違いが、化学結合の違いに起因することを理解している。</p>	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
		合計	70				

千歳丘 高等学校 令和8年度（2 学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育

科目：体育

単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 大修館書店「現代高等保健体育」 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。

【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。

【学びに向かう力、人間性等】 運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付けている。	自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 体づくり運動 【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。 【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。	・指導事項 体カトレーニング サーキットトレーニング 持久カトレーニング 等 ・学習カード等の活用による活動のフィードバック	【知識・技能】 緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。いろいろな条件で、歩いたり走ったり飛び跳ねたりする運動を行うことを通して、気付いたり関わり合ったりすること。 【思考・判断・表現】 ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定すること。体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けること 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとすること。仲間に課題を伝え合うなど、互いに助け合い教え合おうとすること。	○	○	○	8
	E 陸上競技 【知識及び技能】 走運動（短距離走）としての特性を理解する。自己の体力を知り、走力の向上につながる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 課題解決の方法を理解し、運動を継続するための取り組みを工夫できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 健康・安全に留意して、自己の記録を伸ばせるように努力できる。	・指導事項 短距離走 ・学習カード等の活用による活動のフィードバック	【知識・技能】 走・跳躍運動の技能を理解し、身につけているか。記録を測定し評価する。 【思考・判断・表現】 個人の能力に応じた運動課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考判断しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 公正・協力、自己の責任を果たし参画できているか。健康安全を確保して運動しているか。	○	○	○	11
	D 球技 【知識及び技能】 競技の特性を理解し、課題解決の方法を学、自己や仲間の課題に応じて取り組ませる。 【思考力、判断力、表現力等】 作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ルールやマナーを大切にすることや、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	・指導事項 テニス、バレーボール ・学習カード等の活用による活動のフィードバック	【知識・技能】 各種目の技能を理解し、身につけているか。個人技能・チームプレーの中での技能を評価する。チームやゲーム運営への貢献度などを総合的に評価する。 【思考・判断・表現】 個人の能力に応じた運動課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考判断しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 公正・協力、自己の責任を果たし参画できているか。健康安全を確保して運動しているか。	○	○	○	11
	D 球技 【知識及び技能】 競技の特性を理解し、課題解決の方法を学、自己や仲間の課題に応じて取り組ませる。 【思考力、判断力、表現力等】 作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ルールやマナーを大切にすることや、自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。	・指導事項 ソフトボール、バドミントン ・学習カード等の活用による活動のフィードバック	【知識・技能】 各種目の技能を理解し、身につけているか。個人技能・チームプレーの中での技能を評価する。チームやゲーム運営への貢献度などを総合的に評価する。 【思考・判断・表現】 個人の能力に応じた運動課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考判断しているか。 【学びに向かう力、人間性等】 公正・協力、自己の責任を果たし参画できているか。健康安全を確保して運動しているか。	○	○	○	17

使用教科書：（大修館書店「現代高等保健体育」）

教科 保健体育 の目標：生涯にわたって心身の健康を保持増進する。また、生徒間でのコミュニケーションを図り目標に向けて工夫する。

【知識及び技能】保健に関する様々な分野において必要な知識を正確に習得する。

【思考力、判断力、表現力等】授業で得た知識や技能を実生活に活かせるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】自己の心身の健康や環境衛生等に興味・関心を持って主体的に取り組むようにする。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【主体的に学習に取り組む態度】
個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付けている。	個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝えている。	健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	0.オリエンテーション ○3単元 生涯を通じる健康 1.ライフステージと健康 2.思春期と健康 3.性意識と性行動の選択 4.妊娠・出産と健康 5.避妊法と人工中絶 6.結婚生活と健康 【知識及び技能】 思春期における心身の発達や性的成熟に伴う変化に関わり、健康課題が生じることがあることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康に関わる事象や情報から課題を発見し、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決にむけて主体的に活動できる。	・指導事項 各ライフステージの健康課題と社会からの支援について学ぶ。思春期における体と心の変化、思春期に起こりやすい健康問題について理解を深める。また、性意識やその男女差を知り、適切な意思決定・行動選択について考える。妊娠・出産に伴う健康問題について学び、健康的な妊娠・出産をするための対策と母子保健サービスの活用について考える。また、望まない妊娠の問題点を考えるとともに、適切な避妊法について学ぶ。 結婚生活を健康に過ごすための条件について学ぶとともに、健康な結婚生活に必要な考え方や行動について考える。 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査、授業中の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況、授業態度、提出物	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学期	○3単元 生涯を通じる健康 7.中高年期と健康 8.働くことと健康 9.労働災害と健康 10.健康的な職業生活 ○4単元 健康を支える環境づくり 1.大気汚染と健康 2.水質汚濁、土壌汚染と健康 3.環境と健康にかかわる対策 4.ごみの処理と上下水道の整備 5.食品の安全性 6.食品衛生にかかわる活動 【知識及び技能】 健康を支える環境づくりに関わることを社会参加などについて、理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて主体的に活動できる。	・指導事項 加齢による中高年の健康リスクを低下させるための対策について学び、高齢社会に必要な社会の取り組みについて考える。 働くことによって起こるけがや病気があること、それらを労働の場面では常に考慮する必要があることを理解する。 過去の健康被害の事例から、健康影響について理解するとともに、地球温暖化、酸性雨、オゾン層の破壊などの地球規模の問題を引き起こすことについて、調べ学習を通して理解を深める。 最終処分場の不足の問題から産業廃棄物に関する課題について考える。 また、安全で質のよい水を確保するためのしくみについて理解を深める。 食品の安全性の確保のための活動にはどのような活動があるか、また、消費者、生産者、行政という異なる立場から、どのように食の安全性を確保すればよいかについて、ディスカッションする活動などを通して食の安全性について理解を深める。 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査、授業中の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況、授業態度、提出物	○	○		16
	定期考査			○	○		1
3 学期	○4単元 健康を支える環境づくり 7.保健サービスとその活用 8.医療サービスとその活用 9.医療品の制度とその活用 10.さまざまな保健活動や社会的対策 11.健康に関する環境づくりと社会参加 【知識及び技能】 健康を支える環境づくりに関わることを社会参加などについて、理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 健康を支える環境づくりに関わる情報から課題を発見し、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて主体的に活動できる。	・指導事項 保健行政のしくみやさまざまな保健サービスについて、理解を深める。 医薬品の種類について確認する。安全性を高めるためには、医薬品を取り巻く行政、企業、医療関係者や消費者が、それぞれの役割と責任を果たしていることをそれぞれの取り組みを調べることを通じて理解する。 健康を支える環境づくりの単元を通して学習してきた環境づくりを振り返り、社会参加のあり方や健康情報とのかかわりという視点から実際に実施されている健康づくりについて調べたり、町づくりを考えたりしてヘルスプロモーションについての理解を深める。 ・教材 教科書、プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 定期考査 【思考・判断・表現】 定期考査、授業中の取り組み 【主体的に学習に取り組む態度】 出席状況、授業態度、提出物	○	○	○	5
	定期考査			○	○	○	1
				○	○	○	合計 35

2 学 期	音階の並びや和音を弾いたときの響きや音型の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解する。創意工夫を生かした応用的な器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、それらの動きを感じ、特徴をとらえてどのように音楽を作り出し、自ら表現するかについて応用的な表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】キーボードの演奏に興味関心を持ち、主体的・協働的に練習に取り組む。	②茶色の小瓶				の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。創意工夫を生かした応用的な器楽表現をするために必要な、表現形態の特徴を生かして演奏する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】音色やリズム、旋律、和音の関係を知覚し、それらの動きを感じ、特徴をとらえてどのように音楽を作り出し、自ら表現するかについて応用的な表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】キーボードの演奏に興味関心を持ち、主体的・協働的に練習に取り組んでいる。					14
	F ミュージカル鑑賞 【知識及び技能】作品の特徴や文化的背景を活かし、楽曲の良さを感じ取る。 【思考力、判断力、表現力等】物語の内容、登場人物の心情、曲想と歌詞の関わりを活かしながら鑑賞し、自身の表現につなげる。 【学びに向かう力、人間性等】豊かな表現方法を分析し、応用的な演奏法を身に付ける。	ミュージカル映画「マレフィセント1」				【知識及び技能】作品の特徴や文化的背景を活かし、楽曲の良さを感じ取ることができる。 【思考力、判断力、表現力等】物語の内容、登場人物の心情、曲想と歌詞の関わりを活かしながら鑑賞し、自身の表現につなげることができる。 【学びに向かう力、人間性等】豊かな表現方法を分析し、応用的な演奏法を身に付けている。					2
3 学 期	G 合唱 【知識及び技能】曲想と楽曲の構造との関わりについて理解する。楽曲にふさわしい発声などの応用的な技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】互いに声の響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて応用的な表現意図をもつ。 【学びに向かう力、人間性等】合唱に興味関心を持ち、主体的・協働的に演奏活動に取り組む。	3部合唱「コスモス」				【知識及び技能】曲想と楽曲の構造との関わりについて理解する。楽曲にふさわしい発声などの応用的な技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】互いに声の響きを感じ取りながら、どのように演奏するかについて応用的な表現意図をもっている。 【学びに向かう力、人間性等】合唱に興味関心を持ち、主体的・協働的に演奏活動に取り組んでいる。					7
	H 和楽器 【知識及び技能】日本音楽の特徴と文化的・歴史的背景について深く理解する。箏の取り扱い、調弦方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】音色を知覚し、邦楽特有の音階の響きを活かした表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】日本の伝統的な音楽を理解し、主体的・協働的に練習に取り組む。	箏曲 六段の調べ				【知識及び技能】日本音楽の特徴と文化的・歴史的背景について深く理解している。箏の取り扱い、調弦方法を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】音色を知覚し、邦楽特有の音階の響きを活かした表現ができる。 【学びに向かう力、人間性等】日本の伝統的な音楽を理解し、主体的・協働的に練習に取り組んでいる。					7
	I 創作 【知識及び技能】日本音階を理解し、陰音階を使用して旋律を創作する。 【思考力、判断力、表現力等】応用的な創作表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】互いに創作した曲を聴きあいながら、主体的・協働的により良い創作活動となるよう取り組む。	箏を用いた音素材での創作				【知識及び技能】日本音階を理解し、陰音階を使用して旋律を創作できる。 【思考力、判断力、表現力等】応用的な創作表現を工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】互いに創作した曲を聴きあいながら、主体的・協働的により良い創作活動となるよう取り組むことができる。					4

合計
70

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教科：芸術 科目：美術Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～7組

使用教科書：（高校生の美術2）

教科 芸術 の目標

【知識及び技能】美術Ⅰで学んだ知識・技能をさらに発展させ、自身の表現として確立させる。

【思考力、判断力、表現力等】より深い観察力と洞察力を働かせ、自分自身を見つめなおし、作品に反映させることができる。

【学びに向かう力、人間性等】新しい画材、技法を積極的に取り入れ、表現の幅を増やすことができる。

科目 美術Ⅱ の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術Ⅰで学んだデッサンや色彩の基礎知識などをさらに発展させ、より表現を広げるためのデッサンや技法について深く学ぶ。油彩画の制作を通し、新しい画材での表現技法を学び、色彩の新しい表現を学ぶ。	テーマを自由に設定できる課題を通し、今まで学んできた知識や技法を生かし、基礎的な技術・表現を独自の技術・表現に昇華させる。相互鑑賞を通して、他者の表現を学び、自身の表現を言語化できる思考力、表現力を身に付ける。	行事などの学校行事や、普段の生活の中から、表現テーマを見出し、等身大の作品制作ができるようにする。他者の作品と自身の作品の相互鑑賞を通し、コミュニケーションを図ることができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		絵 ・ 彫	デ 映	鑑 賞						
1 学 期	A 鉛筆デッサン 【知識及び技能】 美しい構図を理解し実践できる。透視図法を応用し、各モチーフの形を正確に描写することができる。各モチーフが持つ質感を鉛筆、練ゴム等を利用し、十分に表現することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ガラスの透明感、布の柔らかさ、プラスチックボールの映り込みなど、鉛筆の使い分けや、練ゴム、ティッシュ等を使うこととで、様々な表現ができることに気づき、作品制作を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 美しい構図や、画材の特性を生かした描き分けを理解し、今後の作品制作に活用する意識を持ち、制作に取り組むことができる。	・ 静物デッサン	○		○			○	○	10
	B 油彩の理解と実践 【知識及び技能】 デッサンを通し学んだ構図、形態の捉え方を生かし、モチーフを正確に描くことができる。油絵の具の特性を理解して、美しく着彩することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 油絵具の特性を生かし、モチーフの持つ質感や立体感を十分に表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 油絵の基礎知識を学ぶことで新しい表現技法を理解し、今後の作品制作に活用する意識を持ち、制作に取り組むことができる。	・ 油彩画(静物)	○		○			○	○	16

2 学 期	<p>C モダンテクニックを活用した作品制作</p> <p>【知識及び技能】 9種類のモダンテクニックを学び、実践することで各技法の特性を理解し、作品制作に生かすことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自身で作品テーマを設定し、テーマに沿ったレイアウトを考え、計画的に作品制作を進めることができる。様々な技法をどの様に見せるのか考え、より効果的にテーマを表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 普通の生活や、考えていることから作品テーマを見出し、積極的に作品制作に取り組むことができる。</p>	<p>・モダンテクニックの練習 ・モダンテクニックを使用した作品制作</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 ・それぞれの技法の持つ特性を理解し、スケッチブックに多くの技法を実践することができる。 ・今まで学んできた知識、技能と新たに加わる表現技法を合わせ、自身のテーマを十分に表現することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・設定したテーマを十分に表現するためにレイアウトを工夫し、計画的に作品制作に取り組むことができる。 ・多くの画材、技法の中から取捨選択し、魅力的な画面を構成することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・振り返りシートを記入し、よくできた箇所、反省点を認識し振り返ることができる。</p>	○	○	○	26
3 学 期	<p>E 油彩による風景画の制作</p> <p>【知識及び技能】 1年生で学んだ筆触分割を復習し、アナログで実践する空気遠近法の理解と実践。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 油絵の具の持つ特性と色彩理論を理解し考え、描きたい風景の空気感を十分に表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 修学旅行の風景をテーマに選ぶことで、見えたままの風景ではなく、そこに付随する個人の感想や思い出を構図、色彩を効果的に活用し、描写することができる。</p>	<p>・油彩画(風景画の制作)</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 ・油彩画の特性と色彩の特性を掛け合わせ、効果的な画面構成ができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・作品制作を段階的に考え、色の重なる順番を計画し、より効果的な制作を実践できる。 ・混色、重ね塗り等の活用を工夫し、描きたい風景の空気感を十分に表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・作品の相互鑑賞を通して積極的に他者の作品の良いところを発言することができる。 ・振り返りシートを記入し、よくできた箇所、反省点を認識し振り返ることができる。</p>	○	○	○	18
合計										70

<p>【学びに向かう力、人間性等】準備された用具用材に合わせて紙色を選び、自身の使用する料紙を丁寧に作っている。</p>	<p>コラム」を鑑賞後、自身でも料紙(=継ぎ紙)を作る。</p>		○	○	<p>り次の課題練習で使える用紙の枚数が決定する。</p>	○	○	○	2
<p>A 単元…仮名の美(色紙への創作) 【知識及び技能】仮名の起筆や収筆、運筆の緩急、線の曲直・長短・傾きの書き分けを表現できる。 【思考力、判断力、表現力等】墨継ぎの位置、変体仮名の使い分け、漢字の挿入などを工夫することができる。 【学びに向かう力、人間性等】用紙の寸法に文字を合わせ、仮名を読み、内容を理解してから書こう</p>	<p>・百人一首のうち一首を、色紙形式で創作する。</p>		○	○	<p>【知識及び技能】行動観察及び課題出。 【思考力・判断力・表現力等】行動観察及び課題出。 【学びに向かう力・人間性等】行動観察及び課題出。 課題提出により10点満点で評価。提出できた時点で基準点4点を加え、プリントに記載公表してある6項目分を付け足して10点満点とする。評価基準の6項目については3観点による評価を2項目ずつ均等に分配してある。</p>	○	○	○	4
									<p>合計 60</p>

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 外国語 科目 論理・表現Ⅱ

教科：外国語

科目：論理・表現Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組 ～ 7 組

使用教科書：（ MY WAY Logic and Expression Ⅱ （三省堂） ）

教科 外国語 の目標

【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅱ の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ 「 や 」 ）	話 （ 「 発 」 ）	書					
Lesson 1 I Love My Country! 【知識及び技能】 完了形・未来表現：完了形や未来表現を使った文を適切に作る。 【思考力・判断力・表現力等】 これまでの経験について会話する。 【学びに向かう力・人間性等】 自分の経験を伝えようとする。また、相手の経験を聞こうとする。	【項目】 完了形・未来表現 【内容】 これまでの経験についての会話表現を学ぶ。	○	○	○	○	○		○	○	○	5
Lesson 2 The New Wave of Sports 【知識及び技能】 助動詞や、be+to不定詞を使った文を作る。 【思考力・判断力・表現力等】 週末の予定について会話する。最新のものを紹介する発表をする。 【学びに向かう力・人間性等】 週末の予定を伝えようとする。また、相手の予定を聞こうとする。	【項目】 助動詞・be+to不定詞 【内容】 週末の予定についての会話や最新のものを紹介する表現を学ぶ。	○	○	○	○	○		○	○	○	5
中間考査								○	○		1
1 学期 Lesson 3 The Future of Technology 【知識及び技能】 受動態と、不定詞の基本用法の構造と概念を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 印象深かった授業について話す。贈り物について説明する文章を書く。 【学びに向かう力・人間性等】 印象深かった授業について相手に伝える。また、相手の印象深かった授業について聞く。	【項目】 受動態・不定詞 【内容】 印象深かった授業について話したり、贈り物について説明したりする表現を学ぶ。	○	○	○	○	○		○	○	○	5

<p>Lesson 8 Language and Society</p> <p>【知識及び技能】 仮定法に関する様々な用法と表現を学ぶ。</p> <p>【思考力・判断力・表現力等】 旅行に行く友だちとの会話をす る。 「もし○○がなければ」というタ イトルの会話をすする。</p> <p>【学びに向かう力・人間性等】 現実には起こりそうにない状況を仮 定して、自分の願望を相手に伝え る。また、相手の願望を聞き取 る。</p>	<p>【項目】 仮定法</p> <p>【内容】 旅行に行く友だちとの会話につい ての表現や、現実ではない状況下 の発表の表現を学ぶ。</p>											
<p>期末考査</p>												1
<p>2学期の復習</p>		○	○	○	○	○						2

3 学 期	Lesson 9 Send Our Love to the World	【項目】 否定・代名詞							左記の具体的な指導目標の達成度を、定期 考査、小テスト、提出物、授業中の活 動により、総合的に評価する。					6
		【知識及び技能】 否定表現や代名詞を使った様々な 用法と表現を理解する。												
		【思考力・判断力・表現力等】 悩み事を伝える会話をする。 社会問題についての発表原稿を書 く。												
		【学びに向かう力・人間性等】 相手に悩み事を伝える。また、相 手の悩み事を聞く。												
	Lesson 10 Follow in Our Hero's Footsteps	【項目】 無生物主語・thatを使った表現							左記の具体的な指導目標の達成度を、定期 考査、小テスト、提出物、授業中の活 動により、総合的に評価する。					6
		【知識及び技能】 無生物主語やthatを使った様々な 表現を学ぶ。												
		【思考力・判断力・表現力等】 調べ学習での会話をする。 関心のある人物を紹介するスピー チをする。												
		【学びに向かう力・人間性等】 自分の関心のある人物を紹介す る。また、相手が関心のある人物 について聞く。												
	学年末考査													1
	3学期の復習													2
													合計	
													63	

年間授業計画

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 外国語 科目 英語 4技能演習

教科： 外国語 科目： 英語 4技能演習

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 3 組～ 7 組

使用教科書： (Seek next2 第一学習社)

教科 外国語 の目標

- 【知識及び技能】 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 英語 4技能演習 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
外国語でのコミュニケーションを取れるよう習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用し、外国語でのコミュニケーションや課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 (<small>一</small> 人 や <small>一</small> 組)	話 (<small>一</small> 人 や <small>一</small> 組)	書					
Lesson1 文の種類 【知識及び技能】 疑問詞を使った疑問文、間接疑問文の用法や決まりを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 Radio Showと題して、自分で考えた設定での会話作成。 【学びに向かう力、人間性等】 自分で考えた設定での会話を、効果音やパワーポイントを使いながら、発表する。	【指導事項】 ・疑問詞を使った疑問文、間接疑問文の用法や決まりを理解させる。 【教材】 教科書、ワークシート ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を敵考査、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	5
Lesson2 文型 【知識及び技能】 5文型を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 Radio Showと題して、自分で考えた設定での会話作成。 【学びに向かう力、人間性等】 自分で考えた設定での会話を、効果音やパワーポイントを使いながら、発表する。	【指導事項】 ・5文型を理解させる。 【教材】 教科書、ワークシート ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を敵考査、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	8
中間考査								○	○		1
Lesson3 時制① 【知識及び技能】 現在完了形、現在完了進行形の用法や決まりを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で考えた設定での会話やスピーチ作成。 【学びに向かう力、人間性等】 自分で考えた設定での会話やスピーチを発表する。	【指導事項】 ・現在完了形、現在完了進行形の用法や決まりを理解させる。 【教材】 教科書、ワークシート ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を敵考査、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	5
Lesson4 時制② 【知識及び技能】 現在完了形、過去完了形、時制の一致を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で考えた設定での会話やスピーチ作成。 【学びに向かう力、人間性等】 自分で考えた設定での会話やスピーチを発表する。	【指導事項】 ・現在完了形、過去完了形、時制の一致を理解させる。 【教材】 教科書、ワークシート ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を敵考査、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	5
期末考査								○	○		1
1学期の復習								○	○		1
Lesson5 助動詞 【知識及び技能】 助動詞の用法や決まりを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で考えた設定での会話やスピーチ作成。 【学びに向かう力、人間性等】 自分で考えた設定での会話やスピーチを工夫しながら発表する。	【指導事項】 ・助動詞の用法や決まりを理解させる。 【教材】 教科書、ワークシート ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を敵考査、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	5
Lesson6 受動態 Lesson7 to不定詞① 【知識及び技能】 受動態、不定詞の用法や決まりを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で考えた設定での会話やスピーチ作成。 【学びに向かう力、人間性等】	【指導事項】 ・受動態、不定詞の用法や決まりを理解させる。 【教材】 教科書、ワークシート ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を敵考査、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	5

<p>【ナレーションのノリ、ハチエ守】 自分で考えた設定での会話やスピーチを 発表する。</p>												
<p>期末考査</p>										○	○	1

2 学 期	Lesson8 to不定詞② Lesson9 動名詞 【知識及び技能】 不定詞、動名詞の用法を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で考えた設定での会話やスピーチ作成。 【学びに向かう力、人間性等】 自分で考えた設定での会話やスピーチを発表する。	【指導事項】 ・不定詞、動名詞の用法を理解させる。 【教材】 教科書、ワークシート ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を敵審査、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	5
	Lesson10 分詞 Lesson11 比較 【知識及び技能】 分詞、比較表現の用法や決まりを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で考えた設定での会話やスピーチ作成。 【学びに向かう力、人間性等】 自分で考えた設定での会話やスピーチを発表する。	【指導事項】 ・分詞、比較表現の用法や決まりを理解させる。 【教材】 教科書、ワークシート ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を敵審査、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	8
	期末考査								○	○		1
	2学期の復習								○	○		1
3 学 期	Lesson12 接続詞 Lesson13 関係詞① 【知識及び技能】 接続詞、関係詞の用法や決まりを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で考えた設定での会話やスピーチ作成。 【学びに向かう力、人間性等】 自分で考えた設定での会話やスピーチを発表する。	【指導事項】 ・接続詞、関係詞の用法や決まりを理解させる。 【教材】 教科書、ワークシート ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を敵審査、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	6
	Lesson14 関係詞② Lesson15 仮定法 【知識及び技能】 関係詞、仮定法の用法や決まりを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で考えた設定での会話やスピーチ作成。 【学びに向かう力、人間性等】 自分で考えた設定での会話やスピーチを発表する。	【指導事項】 ・関係詞、仮定法の用法や決まりを理解させる。 【教材】 教科書、ワークシート ・一人一台端末を状況に応じ活用する。	○	○	○	○	○	左記の具体的な指導目標の達成度を敵審査、小テスト、提出物、授業中の活動により、総合的に評価する。	○	○	○	5
	期末考査								○	○		1
	3学期の復習								○	○		1
											合計	
												63

東京都立千歳丘高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭基礎

教科： 家庭

科目： 家庭基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組～ 7 組

使用教科書：（ 第一学習社 改訂版家庭基礎 持続可能な未来を創る ）

教科 家庭 の目標

- 【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むため必要な理解を図るとともに、それらにかかる技能を身につけてようとする。
- 【思考力、判断力、表現力等】生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身につけている。
- 【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

科目 家庭基礎 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むため必要な理解を図るとともに、それらにかかる技能を身につけてようとする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、障害を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、より良い社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【知識及び技能】 ライフステージと発達課題を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 生涯発達と発達課題を見通す。 【学びに向かう力、人間性等】 人の一生を展望しこれからのライフイベントや未来予想図を書くことができる。	・これからの人生について ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 ライフステージと発達課題が理解できたか。 【思考・判断・表現】 生涯発達と発達課題を自分にあてはめ表現できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 人の一生を生涯発達の視点でとらえ生涯を見通すことができたか。	○	○	○	2
	B 単元 【知識及び技能】 自立と共生の意味を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 青年期の特徴を理解し大人になるということを考える 【学びに向かう力、人間性等】 これからの自分自身と社会のあり方を考える	・自分らしい生き方と家族 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 自立と共生のための発達課題を理解できたか。 【思考・判断・表現】 青年期特有の発達課題を理解し自分らしさと他社絵の理解を表現でいたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 男女共同参画社会実現に向けた取り組みについて理解しこれからの社会の中での自分の生活を考えることができたか。	○	○	○	2
	C 単元 【知識及び技能】 家庭生活を書支える基本的な法律について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の家族問題と法律問題を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 将来の生活に向かって目標を立て自分らしい生活設計について理解する	・家族と法律 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 家庭生活を書支える基本的な法律について理解できたか。 【思考・判断・表現】 現代の家族問題と法律問題を理解することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 家族の変化と抱える問題について理解し関連する法律について自分の人生の中で具体的に考え理解できたか。	○	○	○	4
	D 単元 【知識及び技能】 次世代を担う子供の特徴について知る。 【思考力、判断力、表現力等】 次世代を担う子供をはぐむことの責任を考慮することができる。 【学びに向かう力、人間性等】	・子どもとかわる ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 子どもの特徴を理解できたか。 【思考・判断・表現】 子どもをはぐむことの責任を考慮することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 親になることの責任を自覚し行動をとることが理解できたか。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
2 学 期	E 単元 【知識及び技能】 栄養素と食品について知る 【思考力、判断力、表現力等】 食事と健康のかかわりや人の一生における食事の役割を知る。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の食文化を知り、食生活を想像	・食生活の知識と食文化 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 栄養素の働きと食品を理解できたか。 【思考・判断・表現】 食事と健康のかかわりや人の一生における食事の役割を知ることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 日本の食文化や自分の食生活の見直しが主体的にできたか。				8
	F 単元 【知識及び技能】 衣生活の衛生管理と簡単な制作について実践する。 【思考力、判断力、表現力等】 効率的で環境に負荷が少ない被服製作を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 被服理論で学んだことを実技として実践する意欲があるか。	・被服の政策と管理 ・教材 ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 生地や素材の校正について理解し、感情に配慮した衣生活を身につけることができたか。 【思考・判断・表現】 効率的で、環境に負荷が少ない被服製作を考え実践できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 被服理論で学んだことを実技として実践する意欲があり、安全に取り組めたか。				6
	定期考査			○	○		1

